

海のデータ連携シンポジウム開催のご案内

主催：内閣府総合海洋政策推進事務局
日時：2023年3月17日（金）13：00～16：00（予定）
形式：参加費無料オンライン形式

（事前登録者へのライブ配信：登録方法については次頁に記載）

開催趣旨：海洋状況表示システム（海しる）は、我が国における海洋状況把握（MDA）の基盤サービスとして2019年4月より運用を開始し、現在は様々な分野で海洋空間の利活用及び保全を支援する情報基盤として利用されております。

この度、海しるをより広く普及させるために、「海洋状況表示システムの利活用に向けた有識者検討会」が設置され、今後の海しるの目指すべき方向性や施策等について検討を行ない、政府への提言をまとめました。

本シンポジウムでは、海洋情報のデータ連携事例を紹介し、上記検討会の提言を基に有識者によるパネルディスカッションを行います。

ー プログラム（敬称略） ー

1. 開会

内閣府総合海洋政策推進事務局

2. 海しるに係る取組状況について

海上保安庁 海洋情報部 情報利用推進課 海洋空間情報室長 山尾 理

3. データ連携の事例紹介

1. 「長崎における海のデータ利用と人材育成の事例」（仮題）

長崎大学研究開発推進機構 機構長特別補佐（長崎県産業労働部 参事監） 森田 孝明

2. 「スマート水産業とデータ連携」（仮題）

一般社団法人漁業情報サービスセンター システム企画部 部長 斎藤 克弥

3. 「航行支援におけるデータ利活用事例」（仮題）

日本無線株式会社 マリンシステム事業部 J-Marine Cloud グループ長 梶 雅英

4. パネルディスカッション「今後の海しるの目指すべき方向性」

（モデレーター）

東京大学 大気海洋研究所 国際・地域連携研究センター 国際連携研究部門長・教授 道田 豊

（パネリスト（氏名 五十音順））

一般社団法人漁業情報サービスセンター システム企画部 部長 斎藤 克弥

高知工科大学システム工学群 教授 佐藤 慎司

東京海洋大学 理事（学生支援・広報担当）・副学長 庄司 るり

東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻 教授 鈴木 英之

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所 特任研究員 照井 健志

長崎大学研究開発推進機構 機構長特別補佐（長崎県産業労働部 参事監） 森田 孝明

海上保安庁 海洋情報部 情報利用推進課 海洋空間情報室長 山尾 理

東海大学海洋学部海洋理工学科 教授 脇田 和美

5. 総括

東京大学 大気海洋研究所 国際・地域連携研究センター 国際連携研究部門長・教授 道田 豊

参加登録について：参加をご希望される方は、以下リンク先の参加申込フォームから
3月15日（水）12時（正午）までにご登録をお願いします。

参加申込フォーム URL <https://forms.gle/oj7pT57s9snVVJXc9>

本シンポジウムの運営を委託している（一社）海洋産業研究・振興協会より、シンポジウム参加用 URL を開催当日までに申込フォームにご登録いただいたメールアドレスに送らせていただきます。

本件に関する問い合わせ先：（一社）海洋産業研究・振興協会 研究部
電話番号：03-3581-8777（代表）
メールアドレス：rioer@rioer.or.jp